

令和6年度第1回恵那市総合計画推進市民委員会 会議録

日時：令和6年8月30日（金）午後3時～

場所：恵那市役所 災害対策室

1. 開会
2. 委嘱書の交付
3. 会長・副会長の選任
4. 会長・副会長あいさつ
5. 副市長あいさつ
6. 総合計画推進市民委員会の役割について 資料 NO. 1
7. 議事
 - (1) 総合計画の進行管理について 資料 NO. 2 資料 NO. 3
 - (2) 総合戦略の進行管理について 資料 NO. 4
 - (3) 地方創生交付金事業の効果検証について 資料 NO. 5
8. その他
 - ・次期総合計画の策定について 資料 NO. 6
 - ・次回：令和7年3月頃の開催予定
9. 閉会

1. 開会

■事務局

これより令和6年度第1回恵那市総合計画推進市民委員会を開催します。

名簿 No.1 の市川委員と No.8 の田中委員は所用のため欠席です。

本日の会議は公開としますので、承知おきください。

2. 委嘱書の交付

■事務局

本来なら委員一人一人に委嘱書をお渡しするところですが、時間の関係で既に机上に配布しています。それをもって交付とさせていただきます。

3. 会長・副会長の選任

■事務局

会長、副会長を選出します。恵那市総合計画推進市民委員会設置要綱第5条により、会長は委員の互選、副会長は会長が指名することになっています。会長の互選についていかがでしょうか。

■委員

事務局の案はありますか。

■事務局

会長職には中部大学の服部敦様を推薦します。賛成の方は、拍手をお願いします。

[拍手多数]

■事務局

ありがとうございます。皆様からの承認をいただいたので服部様は、前の席へご移動ください。続いて副会長は、恵那市総合計画推進市民委員会設置要綱第5条第2項の規定により、会長指名となっています。服部会長から指名をお願いします。

■会長

名簿10番の平林道博さんをお願いしたいと思いますが、いかがですか。

[拍手多数]

■事務局

ありがとうございます。平林様は、前の席へ移動してください。

一言ずつご挨拶をいただきます。

4. 会長・副会長あいさつ

■会長

災害や、突発的な思いがけないことが最近は多く、入念な準備と柔軟な決断が必要と感じます。総合計画も、入念に作り、柔軟に判断していくことが必要だと思います。今日は、皆様から柔軟な判断のために必要な意見を聞きたいと思います。

■副会長

地域自治区会長会議を代表して参加しています。2期目になります。

2つの願いをもって1期目の2年間取り組みました。1つ目は、この会議で行う評価を、評価のための評価にするのではなく、施策の改善、事業の統廃合等も含め、次の施策に活かすことに貢献したいということ。2つ目は、KPIの手法、数値目標を掲げてその達成率をシビアに見ていくことが大事で、達成率を大事にしたいということ。委員12人のうち、新しく3人加わり、2期目が8人。みんなで力を合わせて少しでも恵那市政に貢献したいと思います。

5. 副市長あいさつ

■副市長

委員会への出席ありがとうございます。3点お話しします。

1つ目は、9月1日は、防災の日で、市でも防災の日の行事を予定していましたが、台風の影響で、訓練を中止しました。しかし、市民には、万一来て備えて備品の点検、避難所への経路の確認をお願いしたところです。

2つ目は、お手元にパンフレットを配った山本芳翠とルドンの展示。山本芳翠は恵那市明智町出身。山本芳翠を顕彰した展示会が、国民文化祭により岐阜県美術館で9月20日から12月8日まで行われます。ぜひ作品を見ていただきたいです。

3つ目は、パラリンピックのテコンドー競技に、恵那市武並町出身の工藤俊介選手が出場します。前回7位でしたが、今は世界選手権で3位にいるので、メダルに手が届くかもしれません。ぜひ応援してください。

6. 総合計画推進市民委員会の役割について【資料 NO.1】

■事務局

今回、委員を改選しました。初めて委員になられた方もいるので、総合計画推進市民委員会委員の役割について事務局から説明します。

[事務局から資料に基づき説明]

■事務局

質問はありますか。

なければこれより議事に入ります。議事進行は、服部会長にお願いします。

7. 議事

(1) 総合計画の進行管理について【資料 NO.2】 【資料 NO.3】

(2) 総合戦略の進行管理について【資料 NO.4】

■議長

今回の議事は3つです。最初の2つは、関連性が高いので、併せて説明をお願いします。

[事務局から資料に基づき説明]

■議長

意見、質問、感想があればお願いします。

■委員

「6、災害から生活を守る」について、小学校の体育館の空調はとてもありがたい施策。県内でも岐阜市がやっているだけなので、先進的で、評価したいと思います。災害については、震災関連死を心配しています。ハードだけでなく、ソフト面も今後取り組んでもらいたいと思います。福祉、企業との連携、相談コーナーなど、災害後の復興をいかにしていくかを考えていただきたいです。

「10、行きたいところへ行ける」について、バス運行をしてもらっていますが、利用者が少ないと思っています。まちなか巡回バスの運行はありがたいが、市民になじんでいないのではないかと思います。例えば、1、2人の移動なら、バスでなくても、タクシーで十分なので、タクシー業者の育成を踏まえて、タクシー事業者に補助金を渡して担い手を育成することも大事だと思っています。今後、そういったことも検討していただきたいです。

「11、情報関係」について、スマートスピーカーも良いですが、皆さんが持っているスマートフォンのほうが、市としてもリスクもコストも少なく整備ができるのではないかと思います。

「17、資源を生かす」について、地産地消、木材の話に関連して、東濃ひのきの間伐材を活用した耐震シェルターの整備にも取り組んでいただきたいです。

■議長

ありがとうございます。市からコメントはありますか。

■総務部

小学校の体育館の空調、避難所の在り方について、能登半島地震に際し、職員を派遣しましたが、ほとんどの職員が避難所支援に従事しました。その職員の生の声を聞くため、職員を集めてワークショップを開催し、恵那市に大きな災害が起こったら、どういう対応をするべきか意見を出し合いました。それを今後の避難所運営に生かしていきたいと思っています。また、今年度、力を入れているのは、女性の視点での避難所運営の検討。女性の意見を聞きながら、女性や、福祉、ペットを飼っている方など様々な視点で、避難所運営の議論をして、有事に備えていきたいと思っています。

■まちづくり企画部

バスの利用者が少ないことについて、まずは、バスを知っていただくことが大事なので、バスの乗り方の動画を YouTube で配信したり、バスの乗り方教室を開催したりして、利用促進の取り組みをしているところです。

スマートスピーカーについて、飯地町に試験的に導入しています。今年度からは、市からの情報、防災情報の配信、一人暮らしの見守りサービスなどを行っています。ご指摘のとおり、経費もかかり仕組み作りも大変だったということもありました。スマホでそういうものを構築すれば良いという意見だと思いますが、導入経費はその方が少ないと思いますし、今後どのように行政の情報を伝達すると良いかについて、スマホも含めて考えていきたいと思っています。

■委員

「1、安心して子どもを育てられる」について、出産・子育て応援事業で不妊治療費の助成がありますが、恵那病院で不妊治療が受けられないので、他の病院にかかるときの交通費の助成ということでしょうか。恵那市の子育て支援は、他市と比べてサービスも情報提供も充実していると思いますが、子どもを産む前の段階では、里帰り出産する病院がなくて困ったという声もよく聞きます。子どもが減っている中で、恵那病院に大掛かりな設備を整えるのは無理があるかもしれませんが、子育てのサービスはとても充実しているので、出産までの段階に対する施策についてお聞きしたいです。

■医療福祉部

不妊治療費の助成について、恵那病院では治療が受けられないので、他の病院に通う負担感を少しでも減らすため、令和5年度から交通費の一部を助成しています。令和7年度に向けて、事業の内容を検討しています。子育て支援が充実していると意見をいただき、ありがとうございます。限られた財源の中ですが、良いものは取り入れていきたいと思っています。恵那病院には産婦人科があり、毎月50人ほどのお産がありますが、市外の方が産むケースが多く、恵那病院の設備、産科の医療機器、医療従事者の充実への評価が高く、市外からあえて選ぶ方もいるそうです。今後も、恵那病院と連携して子育て

支援事業を充実していきたいと思います。

■委員

「安心して働ける」について、市内高校での校内企業説明会に社会福祉協議会も参加しましたが、福祉関係は生徒の反応が薄いと感じました。次のページにあるように、令和5年度に市で高校生に対する就学資金の貸付制度を作っていただき、令和6年度は介護職員初任者研修、昔でいうヘルパー2級を受ける人への助成制度を作ってもらって、たいへんありがたいですが、製造業やサービス業の方が人気がある状況です。市内の社会福祉法人全てが参加する組織を作っていますが、職員の採用が困難であるということがよく聞かれます。引き続き、介護、福祉人材の育成、確保に力を貸していただきたいと思います。「買い物に不便を感じた市民の割合」について、買い物に不便という話は多数聞きます。社協の運営するデイサービスセンターの利用者向けに移動販売車に来ていただけるようにしたら、とても好評でした。交通・移動の施策とあわせて、買い物についても、さらに良い解決策があると良いと思います。

■医療福祉部長

介護人材の育成確保について、高校生の就学資金の貸付は、この制度を利用した高校生が、実際に市内の介護施設に就職したという嬉しい事案も出てきています。この制度を、積極的に周知し、介護人材の確保への突破口としたいと思います。

■まちづくり企画部長

買い物に不便を感じた市民の割合について、恵那には明知鉄道、バス、タクシーなどの交通手段があり、それを繋いだ移動手段を考えていくという取り組みも進めているところです。買い物についても、交通政策の中で取り組んでいきたいと思います。串原、上矢作では移動販売車を走らせています。最近、民間でも、買物が不便な地域へ移動販売車を走らせていると聞きますし、総合的に考えていきたいと思います。

(3) 地方創生交付金事業の効果検証について【資料 NO.5】

■議長

次の議事の説明をお願いします。

[事務局から資料に基づき説明]

■議長

意見、質問があればお願いします。

■委員

市民活動団体について、まちづくり市民団体を統括するところがなくなり、それぞれ活動していると思いますが、市で把握している市民活動団体の数はいくつですか。それか

ら、全国発酵食品サミットは、素晴らしい特徴があり、良いと思いますが、行政がいつまでもやるのではなく自分たちで会を作ったりする必要があると思っています。担い手となる市民団体を育てる芽はありますか。

■まちづくり企画部長

市民活動団体の性格な数は把握していませんが、地域振興課で NPO の皆さんの相談に乗っています。市民まちづくり活動補助金を交付してまちづくり活動を応援するとともに、地域では地域のまちづくり活動補助金で地域の取り組みを応援しているところです。

■農政課長

現在、発酵のまちづくりということで、昨年度は発酵食品サミットの開催により機運を高め、発酵のまち恵那として事業を進めています。令和4年度から「発酵の学校」を実施しており、発酵食品ソムリエを71名誕生させました。団体を育成するということでは、発酵食品ソムリエの会を立ち上げており、今年度、発酵の魅力を学校や市民に伝える活動を進めています。

■委員

私は、委員2期目ですが、達成されたことが増えてきて良いと思います。

地域再生制度について、事業年度が終わるとどうなるのでしょうか。持続可能性についてお聞きしたいです。

人口減少、少子化に関連して、子育てや教育の関係について、私も2人の子どもを育てる中で、先生や教育委員会の方から様々なご配慮をいただき、とても良い教育が受けられていると感じているし、色々な施策をしていただいていると感じています。しかし、よく言われているのが、少子化というより少母化、結婚の数が少なくなっているということ。これは、市の施策というより、価値観の変化かと思います。日本や世界の変化の流れにいかにかが難しいと感じます。何か良い案がないか、ぜひ会長にお聞きしたいです。

移住定住について、空き家バンクでは、最近、笠置でも1件登録がありましたが、登録するまでに2年ぐらいかけて家主さんが測量などの準備を行い、100万円ぐらいかかったという話があるそうです。恵那市の空き家バンクは他市と比べて使いやすいという話もありますが、細々とした手続きが多く、何度も市役所などに通わないといけないということで、空き家バンクに登録するよりも不動産屋を通して売りたいという人が増えている印象があります。地域ごとに「こういう空き家が多い」という地域特性があると思うので、地域ごとの要求に応じて手続きを緩和すると良いと感じています。

■会長

2つ目の件について、少子化は世界的な傾向というわけではなく、世界的に見ると人口は爆発的に増えています。ただし、貧困などの問題が関わってきます。ヨーロッパでは

少子化を克服し、子供が生きやすい社会を作りつつあります。日本は子供が生きやすい社会になっていないというところで、なかなか結婚、出産が進まないということがあると思います。子どもたちの生きる選択肢が、もっと多様になれば良いということが日本のこれからの大きな課題だと思われまます。

■企画課

地方創生の事業は持続可能であることが大前提で、交付金がなくなっても続けていく仕組みを作るとするのが全ての事業の基本となっています。ただ、実際には事業期間の3年間ではなかなか定着できていないこともあるので、地道にやっていくことが大事だと捉えています。行政以外の新しい担い手がやっていくとか、収入を得る仕組みを作るとか、色々なことを組み合わせながらやっていきたいと思っています。

人口減少については、現在、新しい総合計画を作っているところで、人口減少の流れは止められないが、人口が減っても幸せに暮らすということを描きながら新しい計画づくりをしたいと思っています。委員からも提案があればぜひ教えていただきたいです。

■まちづくり企画部

空き家バンクについて、地域の移住定住部会で一生懸命取り組んでいただき、笠置町でも実績を上げていただいています。空き家バンクに登録するために100万円かかるというのは、登記など整理にかかるということだと思います。登記ができていないものを次に人に譲るとするのは、後々のトラブルの元になりかねないので、市が絡む以上は難しいということがあります。登記が整ったものを市で仲介することを原則にしています。古い家で登記が先代だったり、親戚がたくさんいたりすると時間もお金もかかると聞いています。市では、登記費用や空き家片付け費用などの補助も実施しています。市としては、地域に関わらず、登記などがきちんと整ったものを引き渡したいという考えです。

■議長

他にご意見がなければ、進行を事務局にお返しします。

8. その他

■事務局

事務局から「8.その他」について説明します。

[事務局から資料に基づき説明]

■事務局

ご質問はありますか。なければ、机上に「令和6年度第1回恵那市総合計画推進市民委員会についてのご意見」という用紙を配布しています。今日は、限られた時間でしたので、発言できなかったことや、ご自宅に帰られてから気付かれたことなどがあれば、この用紙を使ってご意見をいただければと思います。

今回は、来年3月を予定しています。皆様のご意見を伺いながら、令和7年度の主要事業についてご説明する予定です。

本日は、長時間に渡り、熱心な議論をありがとうございました。

9. 閉会

■事務局

最後に、副会長から閉会のあいさつをお願いします。

■副会長

10月20日には恵那市は20周年の記念式典を開催します。20年を振り返り、新たな20年に向かって力を合わせていきたいと思います。確かなスタートは確かな振り返りから。本日の総合計画市民推進委員会の中でも、地方創生交付金の3事業などはとても分かりやすく成果がきちんと出ている。新しい総合計画を作るときも、このように目標を明確にしたり、取り組みを重点化したり、スケジュール的に事業を行うなどして、今回の事業での教訓を得て次の20年に向かうといいと思います。計画には「鳥の目」と「虫の目」があるということをよく言いますが、私たちは市民の目、「虫の目」で、行政の方には「鳥の目」で職員の知恵を結集して作った20年のビジョン、段取りを提案してもらいたいと思います。

[閉 会]